

させられるかは大きな課題です。市ヶ谷校舎では限られたスペースですが、学生同士が交流し議論できる場所も設けていて、学生も有効に活用しています」

「最近では、プロの運動選手や演劇の役者を目指している若い人達が、通信教育部を選択して入学しています。特別にやりたいことがあるため通学制の大学に行けなかった人達ですが、いきいきと授業を受講していて、他の学生の勉学意欲に良い刺激を与えています。一方で、海外在住の日本人でメディア授業をとっている学生も徐々に増えてきています。この遠隔地で居住しながら学修している人達のケースも参考にしながら地方の受講者を増加させていきたいと思っています。ただ、地方在住の学生を卒業させるためには大学側でもサポート体制を作る必要があるため、様々な試みを実施しております」

——通信教育の将来像——

「日本大学は、本年度の改革で転部・転籍の制度を変えました。転籍というのは、例えば、通学課程の法学部と通信教育課程の法学部の間をいい、転部とは通信教育課程の法学部から通学課程の商学部や経済学部等へ移ることをいいます。今回の改定では本通信教育部に在籍している学生は、通学課程の各学部へ一定の成績等の要件を具備し内部試験に合格すれば移ることができることになりました。逆に、通学課程で経済的な理由で勉学を継続することが困難となったり、入学時の学部選択のミスマッチ等で学修意欲が失われてしまった学生を日本大学内に留めて卒業させることも可能となりました。この転部と転籍制度を活用することによって日本大学における学部相互間の学生の移動が可能になることも期待されております。これは、総合大学である日本大学のスケールメリットを活用して魅力ある制度といえるでしょう。これにより、通信教育部にある4学部にこだわらない日本大学の各学部への移動が可能となっております」

「また、通信教育部に対しては、社会人の再教育・リカレント教育を実施する教育機関としての役割を果たすことも要望されています。大卒の資格を持っているが社会人として特定の専門的知識を得たいという要望もあるので、通信教育部では科目受講も可能としております。社会人の要望に対応するために、新しい教材の開発も順次進めています。また、大学は、生涯教育の場でもありますので、その要求に答えられる教員の技量の向上も必要です。通信教育部では、社会の変化に対応して、専任教員の教育力の向上のために研修会の開催を重ねています」

——国際化の取り組みは——

「通信教育部では、学生が国際化の中で活躍できるように学生の国際交流を進めています。本年も2月に国立台湾師範大学の教員と学生が来日して通信教育部の学生とともに授業に参加しました。そこでは、日本と台湾の交流の歴史などの共通テーマで4日間にわたって授業を実施しました。通信教育部は他にアメリカ、韓国との間で国際交流を実施してきました」

——校友会に望むこと——

「通信教育部の学生にも若い方が増えてきています。通信教育部ではこれらの若い人もしっかりと教育していきたいと思っています。校友会にお願いしたいのは、若い人達が気楽に入っていけるような企画を実施して頂きたいことです。そのために、教職員を挙げて校友会の活動を応援していきたいと思っています」

——最後に——

「学生は、社会で活躍するために、たくましさをも身につけることと、専門知識の習得だけではなく幅広い教養や応用能力が必要です。そのために入学時の目的を達成できるように大学生活を通して幅広く学び勉学に励んで下さい。そのことが社会で活躍できる基礎が確かなものになると思います」

☆☆☆ 東京都支部校友会・平成29年度会費納入者のご紹介 ☆☆☆

平成29年度の支部会費は下記の皆様方よりお支払いいただきました。東京都支部一同厚く御礼申し上げます。

【1口】林 晃弘・安部秀人・松尾智代美・志方千津子・打越賢一・吉村益吉・平野栄子・井上 泰・高垣むつ子・宇津木淑子・岡野直行・出川 昇・治田康志・田添 正・山本良吉・松川正登・林 輝代・高木智弘・斎藤永子・堀 智子・三橋朗子・松本なを美・師田袈裟茂・平原隆志・斎藤 寛・八馬朱代・瀬尾香保子・島崎昭生・金永姫・清田貞次・小原暁子・高山紀男・本多和子・石原 淳・松岡栄子・高木典章・清水千珠子・村越 裕・千葉太介・西川綾子・橋本立子・上野明子・多田英治・矢吹直紀・五十嵐登

【2口】酒井和子・荒船勇次郎・蛭名 正・桑原隆弘・三上英子・宮澤三枝子・眞船洋二・水口 浩・吉岡友子・吉村立雄・新井澄子・森 逸男・壁谷君江・新田園子・野澤貞雄・大月郁夫・荒川恒昭・小野寺みさの・石井啓之・北村周之・斎藤和子・中村友香・野口 昭・新津逸男・佐竹さち子・土田 修・高松秀則・成宮眞理子・貝塚英雄・榎原志津江【3口】中原照雄・脇岡堅一・山川洋子・山村多恵子・富澤良光・鈴木義彦・田高寛直・川熊長子・近藤 裕・樋口治美・小野千恵子【4口】吉武香代子・篠 博久・山本克子・西島裕行・石川寿朗・白戸忠志・橋本アサ子・田口浩子・黒坂智子【5口】マクリン幸子・神津千恵美・玉井孝丸・松村陽江・田中瑛也

【6口以上】丁 美子・宮川美智子・金子栄輔

(※平成28年度以降の会費振込料は支部負担とさせていただきます。今後ともよろしくご協力をお願いいたします)

東京都支部総会開催される

東京都支部平成 29 年度(第 52 期)総会は 5 月 13 日、通信教育部校舎 1 号館、ミーティングルームにて開催された。17 名の会員参加のもと、事業報告、収支決算、並びに事業計画案、予算案ともに満場一致で承認された。総会終了後は場所を移し、懇親会が開かれ、親交を深めた。



平成 29 年年度(第 52 期) 決算書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

《収入の部》 (単位：円)

科目	決算	摘要
会費収入	243,000	会費納入会員数 103 名
臨時会費収入	70,000	総会出席者 16 名
本部補助収入	119,840	会報 91～92 号/総会補助
50 周年寄付金	867,240	
関プロ会費収入	787,802	計 37 名、大学祝い金
広告収入	84,000	会報名刺広告
受取利息	3	郵貯銀行利息
雑収入	0	該当なし
小計	2,171,885	
前期繰越金	408,334	現金/郵貯/振込口座
合計	2,580,219	

《支出の部》

科目	決算	摘要
臨時会費支出	66,445	総会懇親会・忘年会
会議費	6,798	監査実地費用
旅費交通費	0	該当なし
通信費	5,779	通信用郵便料
50 周年記念支出	867,240	記念誌製作、表彰状
事務消耗品費	9,149	事務用品諸費
印刷・発送費	431,130	会報 88～89 号、封入費
関プロ総会支出	787,802	かんぼの宿・青梅
支払手数料	8,116	会費・広告振込料
雑費	5,000	研究会助成金
事務所移転費	121,042	活動助成金、勧誘費他
小計	2,308,501	
次期繰越金	271,718	現金/郵貯/振込口座
合計	2,580,219	

平成 30 年度(第 53 期) 予算書

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

《収入の部》 (単位：円)

科目	予算	摘要
会費収入	330,000	会費納入会員数 160 名
臨時会費収入	250,000	総会・忘年会、その他
本部補助収入	110,000	会報発送料、本部補助分他
50 周年寄付金		
関プロ会費収入	130,000	大江戸通信名刺広告料
広告料収入	400,000	記念行事寄付金目標
受取利息	100	郵貯利息
雑収入	5,000	科目外収入金
小計	1,225,100	
前期繰越金	408,334	現金/郵貯/振込口座
合計	1,633,434	

《支出の部》

科目	予算	摘要
臨時会費支出	250,000	総会費他
会議費	20,000	役員会議費用
旅費交通費	30,000	
通信費		
50 周年支出金	30,000	事務一般用品費用
関プロ支出金	400,000	記念式典
事務消耗品費	20,000	総会・忘年会・案内状他
印刷・発送費	450,000	会報印刷封入費
支払手数料	35,000	会費振込手数料
諸雑費	40,000	研究会活動補助、予備費
小計	1,275,000	
次期繰越金	358,434	
合計	1,633,434	

通信教育部校友会・全国総会開催される

日本大学通信教育部校友会・第47回定期総会は5月26日(土曜日)日本大学桜門会館で開催された。本総会では事業報告・決算報告、事業計画・予算案が上程され、執行部原案通りすべてが承認された。また、本部の主な事業計画予定は下記のとおりであります。

- 会報発行：①平成30年7月1日 会報第93号発行 ②平成31年1月1日 会報第94号発行
本部常任役員会：年6回 (①4月20日、②6月22日、③9月 日、④11月 日、⑤H31年1月 日、⑥3月 日)
本部三役会：年2回 (①5月26日、②H31年1月19日)
定期総会：第47回定期総会 (H30年5月26日) 平成31年度・新年会：H31年1月19日
各地区ブロック総会：①九州ブロック総会 (鹿児島県) H30年7月28日
②中国ブロック総会 (島根県) H30年8月26日
③東北ブロック総会 (岩手県) H30年9月30日
④近畿ブロック総会 (京都府) H30年9月30日
⑤東海ブロック総会 (三重県) H30年10月21日
⑥北信越ブロック総会 (福井県) H30年10月27日
⑦四国ブロック総会 (香川県) H30年11月10日
⑧関東ブロック総会 (千葉県) H30年11月11日

本年度本部表彰では東京都支部より、次の3名の皆様に本部長より感謝状が授与されました。心よりお祝い申し上げます。

- ◎川熊長子 (昭和34年経済学部卒)
- ◎富澤良光 (昭和42年法学部卒)
- ◎白戸忠志 (昭和60年商学部卒)

第38回 日本大学通信教育部校友会 関東ブロック総会 **千葉県大会** 開催日程決まる

平成30年度のブロック総会は下記の通り開催されます。なるべく多くの支部員の皆さんが参加して、校友会の交流の輪を上げましょう。皆様のご参加をお待ちしています。

開催概要

- 開催日：平成30年11月11日(日)～12日(月)
- 会場：アパホテル&リゾート東京ベイ幕張
千葉市美浜区ひび野2-3 ☎043-296-1111

- 参加費：総会 3,000円
総会+懇親会 11,000円
総会+懇親会+宿泊 19,000円
観光+昼食別途 無料

- 第1日目：**
- ◎受付 12:50～13:50
 - ◎ブロック役員会 13:00～14:00
 - ◎ブロック総会 14:00～15:30
 - ◎記念撮影 15:30～16:00
 - ◎記念講演 16:00～17:00
 - ◎休憩 (各自自由) 17:00～18:00
 - ◎懇親会 18:00～20:00
 - ◎歓談・入浴 (各自自由) 20:00～22:00

- 第2日目**
- 観光 (ホテル規格の日本庭園「美浜園」の見学を企画しています。徒歩10分)
 - 参加申込：参加希望者は支部単位で申込みとなっています。

支部長・金子(080-5032-1467)まで電話でお申込み下さい。

- 第1次締切 平成30年8月31日
- 最終締切り 平成30年9月15日

編集後記